

令和
5年度

予算の概要

～成長を礎に 変化を好機に～

第6次総合計画に位置付ける事業を中心に、市民福祉の維持や向上、地域経済社会の活性化を図り「暮らしやすさ」を実感していただけるまちづくりに向けた予算としました。

☎️ 財政課 ☎️ 94-4862

予算総額 611億3600万円

令和5年度各会計予算総括表

会計名	令和5年度予算額	前年度予算との比較(伸び率)
一般会計	353億2200万円	+6億2700万円(+1.8%)
特別会計	194億4100万円	+1億1700万円(+0.6%)
公営企業会計	63億7300万円	+2億4600万円(+4.0%)
合計	611億3600万円	+9億9000万円(+1.6%)

③…公営企業会計

一般会計 353億2200万円

依存財源 国・県が定めた基準により交付される支出金や、市が借り入れる財源

● 依存財源合計 151億1390万円 (42.7%)

交付金など(国税などから市に交付されるお金)

44億6440万1千円 ▲UP

地方消費税交付金	25億6000万円
地方交付税	10億7400万円
地方譲与税	2億3210万1千円
配当交付金	1億3830万円
地方特別交付金	1億100万円
その他の交付金	3億5900万円

市債(市の借入金)

14億1810万円 ▼DOWN

県支出金(県からの補助金など)

28億7943万9千円 ▲UP

国庫支出金(国からの補助金など)

63億5196万円 ▼DOWN

その他(維持補修費、予備費、積立金、災害復旧費など)

11億1614万7千円 ▲UP

貸付金(中小企業や勤労者などに対する貸付金)

2億6080万円 ▲UP

補助費等

(市が交付する補助金や市がかける保険料など)

29億7303万1千円 ▲UP

公債費(市債の償還金など)

25億9853万4千円 ▼DOWN

普通建設事業費

(道路や学校、公園などを整備する経費)

19億1553万円 ▲UP

繰出金(特別会計に渡す財源など)

35億2504万5千円 ▲UP

自主財源 市が自ら収入できる財源

● 自主財源合計 202億810万円 (57.3%)

市税(市に納められる税金)

171億6020万円 ▲UP

市税	78億2310万円
固定資産税	75億2290万円
都市計画税	9億160万円
市たばこ税	6億7800万円
軽自動車税	2億3460万円

諸収入(ほかの項目に該当しないさまざまな収入)

6億5964万9千円 ▼DOWN

繰越金(前年度の残金として繰り越した財源)

7億円 ▶STAY

その他

16億8825万1千円 ▲UP

繰入金	10億4662万3千円
使用料及び手数料	3億3014万9千円
分担金及び負担金	2億473万3千円
寄附金	9510万円
財産収入	1164万6千円

扶助費

(社会保障制度の一環として、生活維持を図るための経費)

104億8130万9千円 ▲UP

人件費(職員給与や議員報酬など)

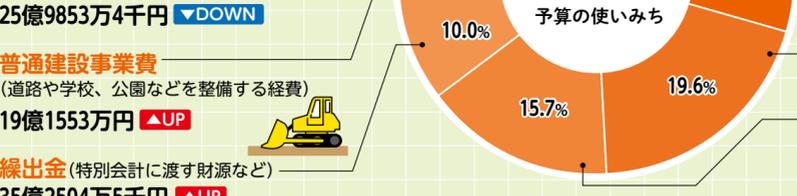
69億2135万9千円 ▲UP

物件費

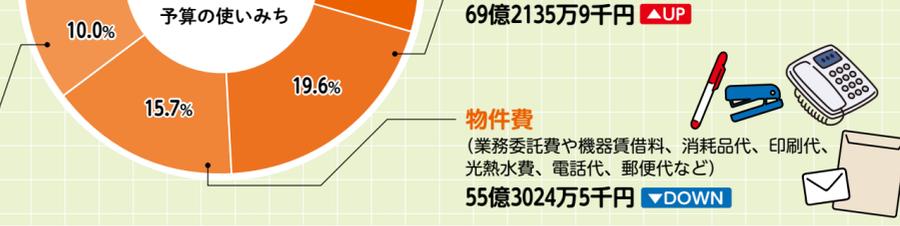
(業務委託費や機器賃借料、消耗品代、印刷代、光熱水費、電話代、郵便代など)

55億3024万5千円 ▼DOWN

歳入 市に入るお金



歳出 予算の使いみち



市民一人当たりの予算の使いみち

合計 34万9004円 (+5149円)

※令和5年3月1日現在の人口、10万1208人で算出。()内は前年度との比較

民生費 15万7993円(+1787円)
児童や障がい者、高齢者などの福祉のために

衛生費 3万7830円(-5448円)
ごみ処理や環境対策、健康管理などのために

消防費 1万5357円(+581円)
消防や救急、防災のために

教育費 2万6704円(-401円)
小・中学校や生涯学習、スポーツなどのために

土木費 3万5477円(+3607円)
道路や河川、公園などの整備・維持補修のために

公債費 2万5675円(-2038円)
市債の返済に

農林水産業費 4662円(-73円)
農業、林業の振興のために

商工費 5542円(+141円)
商業や工業、観光の振興のために

その他 2960円(-33円)

第6次総合計画・実施計画に位置付ける重点事業の取り組み

■…新規の取り組みがある事業 □…充実させた取り組みがある事業 ※金額は新規・充実を含む全体事業費

1 災害や危険から命と暮らしを守る 強くしなやかなまちづくり

■(仮称)秦野市・伊勢原市共同消防指令センター整備事業 1億2500万円
(仮称)秦野市・伊勢原市共同消防指令センター建設のほか、消防総合指令システムや消防救急デジタル無線の整備を実施。



完成イメージ図

■自転車等駐車場整備事業 685万3千円
伊勢原駅および愛甲石田駅周辺における市営自転車等駐車場の効率的な集約化などに向け、自転車等駐車場整備計画を策定。

4 活気にあふれ 地球環境にやさしい まちづくり

■観光インバウンド等プロモーション事業 980万円
ポストコロナにおけるインバウンド需要の回復を見据え、本市への誘客を推進するため、外国人目線で観光情報を発信するインバウンド向けPR事業を実施。



■カーボンニュートラル推進事業 172万8千円
「ゼロカーボンシティいせはら」を実現するため、EVカーシェアリング事業による電気自動車の普及啓発を図るとともに、一般家庭向け「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)」に対する補助を実施。

2 誰もが生涯にわたり安心して健やかに暮らせるまちづくり

■習慣化アプリ行動変容支援事業 713万円
糖尿病などの生活習慣病を予防するため、習慣化アプリを活用し、市民が普段の生活様式の中で、健康づくりについて考え、健康的な生活習慣を獲得する機会を提供。

■市体育館エントランスホール空調設備改修事業 248万1千円
体育館利用者に快適な環境を提供するため、市体育館エントランスホールの空調設備の改修工事に向けた設計業務を実施。

5 都市基盤が整った快適で暮らしやすいまちづくり

◇伊勢原大山インター土地区画整理推進事業 2億1852万3千円
伊勢原大山インター土地区画整理組合が施行する事業の円滑な進捗を図るため、技術的援助を行うとともに、土地区画整理事業補助金を交付して組合を支援。

◇伊勢原駅北口市街地整備推進事業 1億4215万8千円
伊勢原駅北口地区における市街地再開発事業の都市計画変更手続きに向け、駅前広場を含む都市計画道路伊勢原駅前線など公共施設の計画協議を実施するとともに、権利者組織である再開発準備組合および事業協力者と連携し、再開発施設計画の更新検討や関係機関協議などを推進。

3 子どもを産み育てやすく豊かな学びで未来を拓くまちづくり

■妊産婦健康診査等助成事業 5575万9千円
令和5年度から妊産婦健康診査の費用助成額を拡大し、経済的負担の軽減を図るとともに、難聴児の早期発見、早期療育の推進を図るため、新生児聴覚検査の費用助成を開始。

■小児医療費助成事業 2億9445万3千円
子育て支援施策の充実を図るため、0歳～中学校3年生までの通院・入院にかかる医療費を助成するとともに、10月から所得制限を撤廃。

■小学校教科担当制等推進事業 2526万3千円
学力向上と円滑な中学校生活への適応を支援するため、大山小学校を除く全小学校に教科担当制を導入。



市債残高

公営企業会計で借入れが増加するものの、令和5年度の市全体の市債残高は減少する見込みです。市債の借入は、後年度に財政負担をもたらすということを十分認識した上で適切に管理・運営を図っていきます。

会計名	令和5年度末現在高(見込)	令和4年度末との比較
一般会計	194億1822万2千円	-10億9751万7千円
普通債	95億614万8千円	-3億4401万2千円
災害復旧債	630万円	±0円
特別債	99億577万4千円	-7億5350万5千円
特別会計	4億2069万円	-1億2117万6千円
用地取得事業	4億2069万円	-1億2117万6千円
公営企業会計	166億7079万8千円	+2億336万5千円
公共下水道事業	166億7079万8千円	+2億336万5千円
合計	365億971万円	-10億1532万8千円

※数値は、各年度末の元金(利息は含まない)の見込額

市債残高の推移 ※数値は、各年度末の元金(利息は含まない)の見込額

